日本医史学会役員氏名（五十音順）

理事長　小川　鼎三
会長　大滝　紀雄
副会長　杉田　暉道
常任理事　大塚　恭男（理事長代行）
　　大鳥蘭三郎　宗田　一
会計監事　関根　正雄　堀江　健也

理事
石原　力　大滝　紀雄　大塚　恭男
大鳥蘭三郎　緒方　富雄　小川　鼎三
川喜田愛郎　蒲原　宏　酒井　シヅ
酒井　恒　杉田　暉道　鈴木　勝
宗田　一　中野　操　長門谷洋治
富士川英郎　藤野恒三郎　古川　明
矢数　道明　谷津　三雄　矢部　一郎
山形　敞一　高山　坦三　田代　逸郎　田中　助一
立川　昭二　津田　進三　筒井　正弘
土屋　重朗　中川　米造　中沢　修
中西　啓　中山　沃　西川　濵八
服部　敏良　樋口誠太郎　深瀬　泰旦
福島　義一　堀江　健也　本間　邦則
丸山　博　松木　明知　三浦　豊彦
三輪　卓爾　室賀　昭三　守屋　正
矢数　圭堂　山下　喜明　山田　重正
山田　光胤　安井　広　山中　太木
米田　正治　渡辺左武郎

（理事の名は省略）

名誉会員
阿知波五郎　赤松　金芳　石川　光昭
王丸　勇　佐藤　美実　杉　靖三郎
三木　栄　三廼　俊一　吉岡　博人

幹事
蔵方　宏昌　酒井　シヅ　杉田　暉道
谷津　三雄　矢部　一郎

評議員
青木　一郎　青木　允夫　赤堀　昭
安芸　基雄　今市　正義　岩治　勇一
江川　義雄　大島　智夫　大村　敏郎
岡田　博　岡田　靖雄　奥村　武
片桐　一男　川喜田愛郎　川島　恂二
久志本常孝　蔵方　宏昌　榊原悠紀田郎
末中　哲夫　杉立　義一　鈴木　宜民
関根　正雄　瀬戸　俊一　高木圭二郎

編集後記

本号の編集がすすめられている過程で、当日本医史学会にとっても記念すべき行事が挙行されました。

だいそれは、本会が事務局を設置させていただく順天堂大学医学部医学史学研究室の開講二十周年記念の祝賀式典が同大学有山記念館で昭和五十七年十一月二十三日に盛大に挙行されたことです。

当日は、本会会長・小川鼎三先生の研究室設置に関する経過説明からはじまり、来賓吉村昭氏の祝辞、講師として中川五郎治の種痘に関する記念講演があり、作家吉田精一氏の講演、千葉大学医学部教授川喜多愛郎氏の免疫学に関する伝記的講演がありました。

特に川喜多愛郎氏の講演内容はパストゥール学から始まり、英人マラックの抗体に関する学問上の提言、イエルネの抗原抗体説の見解、胸腺の機能の考え方、免疫に対する考え方など研究現時点の問題点にすぎるけ考える学究史的なふたり立場からくわしく述べられました。当日の参会者の講演者の熱のこもった講演は、本会は十分に今や会員数七百余名を有し、発展の一途をたどり、その存在は広く海外にも知られています。

この中核的存在が当、順天堂大学の医学史研究室にあることは、会員各位の衆知の事実であります。

編集者の一員として、特記すべき祝賀会の様子をお伝えし、同研究室が今後ますます、発展することを祈念するとともに、会員各位から資質の高い研究の投稿により『日本医史学雑誌』今後より一層学術雑誌として光彩を放つ存在になるように願って、本号のむすびと致します。

S・H記

昭和五十八年一月二十五日　印刷
昭和五十八年一月三十日　発行
日本医史学雑誌
第二十九巻第一号
編集者代表　大鳥蘭三郎
発行者　日本医史学会　代表　小川鼎三
〒一一三　東京都文京区本郷二―一―一
順天堂大学医学部　医史学研究室内
印刷所　振替　東京六―一五二五〇番
〒一二六　三報社印刷株式会社
東京都江東区亀戸